

# 寅さん歩 その19

## バーチャルウォークで

### 聖火を新国立競技場へ-1



平野 武宏

寅次郎の30代の頃「ルームランナー」といって体重計のような上を走ると距離が出る器具が流行り、運動不足の解消に活用しました。走った距離を「東海道五十三次」のどの宿場まで行ったか、記録するバーチャルランニングです。

FWAホームページの「YR・四季の道」に八柳修之さんの「バーチャルウォークで地球一周4万キロを楽しみませんか」が掲載されていました。もう少し短い距離が欲しいと思っていたら、「バーチャルウォーク（国内版）沖縄から新国立競技場まで東京オリンピック2020の聖火コース（仮想）1685kmを2020年7月までに歩いてみませんか」が掲載されました。

かつては平野寅次郎の名で、映画の寅さんのように全国のウォーキング大会を歩き、世界最大のウォーキング大会オランダ4デーマーチ（4日間で120km）を完歩しましたが、2018年1月に坐骨神経痛を発症し、自由に歩けなくなりました。治療やリハビリを重ね、5km程度の散歩まで回復しましたが、完治はしていません。例会にも参加出来ず、悶々としていました。こんな時の光明が、このバーチャルウォークの目標でした。最後まで歩けるかの不安もありますが、その時は**駕籠に乗って**（ウォーキングの隠語で交通機関を利用）聖火を新国立競技場へ届けようと気楽に考えました。2020年7月24日の開会式までは2018年10月1日から約22ヶ月あります。毎月80km（4km×20日）を歩けば、十分届けられる計算です。一緒に歩く方はいませんか？ 歩く地域について学ぶのも良いですよ。寅次郎は歩きながら、昔、ウォーキングで訪れた通過の県の思い出や映画「男はつらいよ」で寅さんが通過した県でマドンナとどんな恋をしていたのかを、お話ししていきたいと思います。2018年10月1日沖縄県最北端の辺戸岬を出発し、那覇市を目指します。

**[沖縄県辺戸岬～沖縄県那覇市首里城]** 0km～100km



寅次郎の沖縄県訪問は1999年12月「第12回名護やんばるツーデーマーチ」と2000年12月「第13回名護やんばるツーデーマーチ」の参加です。1999年は日本マーチングリーグ(JML)の8地区の完歩で日本マスターウォーカー賞をいただきました。ウエルカムパーティでは500円会費で沖縄料理11種が食べ放題でした。



当時はもう普天間基地の名護 辺野古への移転の話がありました。名護城の丘を越えて美しい辺野古の海を見て、ここが埋め立てられて基地になるのかと残念に思った記憶があります。

コース途中の給水ポイントでは沖縄の婦人たちの温かい歓迎がありました。黒糖をしゃぶりながら、つい話込んでしまいました。裏通りを歩いていると幼い子供に「おじさんはなぜ歩いているの?」と質問され、子供にウォーキングの効果の説明は難しいと思い「お金がないから」と答えてしまい、後で後悔しました。コースのゴール手前にはオリオンビールの工場があり、ビールの飲み放題でした(その後、飲み放題はなくなったとか)二日目は予定の40kmコースを20kmに変更し、早く工場に到着し、長居をして赤い顔で、鼻歌まじりでゴールしたのを覚えています。12月なのにTシャツ、半ズボンで歩き、ブーゲンビリア、ハイビスカス、なごランの花が咲き、日本で一番早い桜も見る事が出来ました。首里城も大会の前日に訪問し、スケールの大きさに驚きました。



映画の寅さんも沖縄には楽しい思い出があります。1980年8月公開の



第25作「男はつらいよ 寅次郎ハイビスカスの花」で網走で意気投合した歌姫リリー(浅丘リリー)が沖縄で病気になり、「死ぬ前にもう一度、寅さんに会いたい」との手紙に、飛行機大嫌いの寅さん羽田でひと騒ぎして那覇にかけつけ、献身的な介護をします。退院し漁村で別棟の部屋を借り、二人の生活が始まります。部屋は別ですよ。夫婦に似た感情を持ちますが、リリーの「男の稼ぎに頼るのは大嫌いだ。働きたい」の言葉に大げんか、沖縄に置いて行かれた寅さん、三日三晩飲まず食わずで、行き倒れの姿で戸板に乗せられて、柴又へ。

(写真右は映画で寅さんの実家のモデルになった柴又のだんご屋さん)

後日、リリーが柴又に訪ねてきて、みんなで食事



の場で沖縄での話が出て、寅さん、なにげなく「所帯をもつかい？」と口走りますが、あわてて「あまり海が青く、澄んでいたのよ、俺とリリーは夢を見てたのよ」と愛らしさと切なさがにじむ会話の後、二人はまた別々の旅に出ます。

「同じ渡り鳥、しばらく家で休んで、また羽ばたいて青い空へさ」とは寅さんの言葉。旅先ですれちがう二人に絶妙なやりとりで幕。

寅さん演じる渥美清さんが1996年8月に亡くなり、「男はつらいよ」は第48作で終わりましたが、翌年の1997年に第25作のリマスター版 第49作「男はつらいよ 寅次郎ハイビスカスの花 特別編」が公開されています。デジタル技術を使い、寅さんの姿はCGで合成とのこと。ここでも沖縄が登場します。



さあ、自由に歩けなくなった、ふがいない自分と向き合い、「置かれた場所で咲きなさい」(元ノートルダム清心学園理事長 故 渡辺和子シスターの言葉)を胸に健康ウォーキング記録帖を印刷し、記録帖の5kmマスを一つ一つ塗りつぶして行きます。

20マス全部塗りつぶしたら、那覇市に到着。次は鹿児島県コースです。途中経過は次に掲載の「寅さん歩」の中でお知らせします。

次回は 東京の学食めぐり-34 です。

平野 寅次郎 拝